

2010(H22).06.13

県総体の1回戦は32-12で下妻一高に勝利

6月13日(日)11:10～ト伝の郷運動公園で、平成22年度度県総体(兼)国体予選の1回戦が行われ、日立一高は、前半17-7、後半15-5、計32-12で下妻一高を破りました。



今日のト伝の郷は、晴天でやや南風が強く、体感気温は27～28℃。こまめな水分補給が必要です。前半は、いつものように「入り」が悪く、また相手のスローペースに合わせてしまったこともあり、ゲームのテンポが全然上がりません。

それでも、FWがスクラム・ラインアウトでプレッシャーをかけ、12分には敵陣ゴール前スクラムからNo.8山口がサイドを突きトライ！ゴール成功かと思われましたがノーゴールで(5-0)と先制

20分にもゴール前スクラムからSHが持ち出し、フォローした7番岡がトライ！ゴールも成功し(12-0)とリードを広げます。

しかし、今日はバックロー・TBともにディフェンスがまったく前に出られず、相手TBにプレッシャーをかけられません。従って、何度も単純なクロスダミーで相手SOにロングゲインを許してしまい、27分には敵陣スクラムから左に展開され、ディフェンスのギャップを突かれて相手CTBが独走、中央にトライを許し(12-7)となりました。

前半終了間際には、敵陣ゴール前ラインアウトを押ししてコラプシングの反則を誘い、PからGOでFWがトライを奪い、なんとか(17-7)としてハーフタイム



後半開始1分には、センタースクラムからTBが左に展開、FB小野からリターンをもらった11番反町がコーナーへ飛び込みトライ(22-7)とリードを広げ、その後も、7分にFWが、23分にBKがトライを重ね(32-7)とセーフティリードを奪います。

しかし、25分にはマイボールスクラムからフッキングミスでボールを奪われ、左オープンに展開されてコーナーに飛び込まれ(32-12)そのままノーサイド。またも不完全燃焼のままゲーム終了となりました。



下妻一高とは、5月の関東大会県予選の2回戦でも対戦しており、そのときは31-12だったので、1点だけ点差が開いたことになりましたが、内容的には…

もちろん、部員は一所懸命に頑張っています。しかし、やみくもに頑張るだけでは結果はついてきません。試合の中で、あるいは日ごろの練習の中で、自分たちのチームを自分たちがマネジメントしていく、言葉を換えれば自らの意識と判断に基づき、自分たちでチームを、直面するゲームを組み立てて作っていく、今の日立一高にはそんな姿勢と雰囲気と「プライド」が欠如しているように感じます。

20日(日)の勝田工高戦に向けて、もう一度、部員一人ひとりが「勝つために何をすべきか？」について、深く掘り下げて考えて欲しいと思います。